

2023年7月3日

積水化成品工業株式会社（本社：大阪市北区西天満 2-4-4 社長：柏原正人）が、一般社団法人日本物流団体連合会が主催する第24回物流環境大賞において「特別賞」を受賞しました。

## 『リチウムイオン電池 100%リサイクル緩衝材採用と 収納効率最大化の取り組み』が、 第24回物流環境大賞で特別賞を受賞

### 1. 物流環境大賞表彰

物流環境大賞は、近年環境との調和がますます重要視されている物流部門において、優れた環境保全の推進や環境意識の高揚などを図ることを目的とし、2000年から行われている表彰制度です。

第24回目となる今年、株式会社東芝様、SBC 東芝ロジスティクス株式会社様と共同出品しました『リチウムイオン電池 100%リサイクル緩衝材採用と収納効率最大化の取り組み』が、第24回目となる今年、環境保全のための物流の健全な発展に貢献した事業に贈られる「特別賞」を受賞しました。



授賞式

### 2. 受賞内容

#### リチウムイオン電池 100%リサイクル緩衝材採用と 収納効率最大化の取り組み

リチウムイオン電池用の梱包材において、従来品と比べて収納数を25%向上させるとともに、100%リサイクル原料の「エスレンビーズ RNW」を使用しました。

欧米などの包装廃棄物の特定重金属規制にも準拠しており、物流コストやCO<sub>2</sub>削減への貢献が高く評価され、今回の受賞に至りました。



物流環境大賞「特別賞」を受賞した  
『リチウムイオン電池 100%リサイクル緩衝材  
採用と収納効率最大化の取り組み』



### 3. 今後の展開

積水化成品グループは、持続可能な社会の実現に向けて、従来から注力している3R活動（Reduce、Reuse、Recycle）に、2R（Replace、Re-create）を加えたSKG-5Rを実践し、CO<sub>2</sub>排出量削減とサステナブル・スタープロダクト（環境貢献製品）の創出を推進しています。リサイクル原料を使用する素材の開発は、従来品と同等の性能を発現させるために、さまざまな技術的課題を解決する必要がありますが、廃棄物削減の観点から重要であると認識しています。これからも、私たちが保有するユニークな技術を活かし、事業活動を通じた環境負荷低減の取り組みを行っていきます。

以上